

研究課題名	骨代謝関連マーカーの長期における骨密度変化・骨折発生予測能、骨粗鬆症治療効果判定能の検討
研究の意義・目的	骨粗鬆症は、骨の量が減り、強さとしなやかさが失われることで、骨がもろく折れやすくなってしまふ病気です。あなたの病状は、将来的に骨粗鬆症になる可能性が高い、もしくは現時点で骨粗鬆症治療薬による治療が必要であると考えられます。今回、血液中や尿中の骨代謝に関係する物質を調べる「骨代謝関連マーカー」を定期的に測定させていただくことで各種骨代謝関連マーカーが、将来の骨密度の変化や骨折発生を予測できるのかどうか、また、お薬の効き目を調べることに有効かどうかを長期的に調べたいと考えております。
研究を行う期間	2020年8月28日～2034年3月31日（西暦）
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2015年12月31日までに大阪市立大学附属病院の内分泌・骨・リウマチ内科で、骨粗鬆症スクリーニング検査を受け、先行研究（1774「骨代謝マーカーの長期における骨折発生予測能・骨密度変化判定能の検討」と1775「骨代謝マーカーの長期における骨粗鬆症治療薬効果判定能・骨折発生予測能の検討」）に対して、文書で同意された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた上記研究の診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：【血液、尿】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、骨塩定量検査、レントゲン検査、外来でのアンケート】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学附属病院の内分泌・骨・リウマチ内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学附属病院の内分泌・骨・リウマチ内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 研究責任者 今西 康雄
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 （担当者氏名）今西 康雄 電話番号：（06）6645—3806